

令和2年東広島市の教育の主な出来事について

月	概要(タイトル)	内容	担当部局
通年	新型コロナウイルス感染症の拡大	感染症対策のため、市立の幼稚園、小・中学校及び生涯学習施設等を、一定期間臨時休業とした。現在も感染状況に応じた対策を講じている。	学校教育部 生涯学習部
1月	第五次学校教育レベルアッププランを策定	本市の特長を活かした事業を積極的に展開することで、「創造性」「自律性」「協働性」等の資質・能力を育成するためのプランを策定した。	学校教育部
3月	令和2年度「子供の読書活動優秀実践校」文部科学大臣表彰を磯松中学校が受賞	司書教諭や学校司書を中心とした体制の下、組織的・計画的に図書館環境整備の充実を図りながら、図書館を活用した多様な読書活動を進める継続的な取組が評価され、受賞となった。	学校教育部
4月	令和元年度全日本学校関係緑化コンクール学校環境緑化の部において、高美が丘中学校が準特選を受賞	「環境教育・学校環境緑化全体計画」による組織的な活動や「主体的な生徒会活動」「地域づくりに貢献した取組」の3点の継続的な取組が評価され、受賞となった。	学校教育部
6月	市立小中学校の普通教室への空調機器整備完了	教育環境の向上を図ることを目的として、令和元年度に完了した黒瀬・安芸津地区に続き、その他の地区の小中学校普通教室の空調機器整備が完了した。	学校教育部
8月	感謝と応援コンサートinくらの開催	コロナ禍にあって、感染の危険を伴いながら業務に従事する医療や介護・福祉業務従事者等を対象に、広島交響楽団を招き、「感謝と応援寄付金」を活用したコンサートを開催した。	生涯学習部
10月	東広島市子どもの読書活動推進計画(第三次)の策定	「本に親しむ機会の提供」、「主体的な読書活動の推進」、「環境の整備」の3つを計画の柱とし、子どもの発達段階に応じた読書活動の取組を計画的に進めるため、第三次計画を策定した。	生涯学習部
11月	令和2年度東広島市GIGAスクール推進研修会「新しい学びへの挑戦 GIGAスクール推進研修」の開催	国が進めるGIGAスクール構想の前倒しにより、市内小中学校の全児童生徒に配備する一人一台タブレットの活用の推進について、市内教職員と保護者対象に、市長及び大学教授等の講演を東広島芸術文化ホールくららで開催した。	学校教育部
11月	中国中学校<<男子第81回・女子29回>>駅伝競走大会において、松賀中学校男子チームが20年ぶりの優勝	選手6人が一丸となって、各々の役割を果たし、2位以下を大きく引き離し、優勝を飾った。また、男子の部においては、1位から3位までを東広島市内の小中学校が独占した。	学校教育部
11月	東広島市立美術館の開館	市立美術館が西条栄町に移転オープンした。開館記念式典には約100人の関係者が出席し、開館初日には約3,200人が特別企画展を観覧した。	生涯学習部
11月	東広島市ファミリーサッカーフェスタの開催	コロナ禍にあって、体を動かす機会が減少した小学生親子を対象に、サンフレッチェ広島のコーチ陣を講師に招き、「感謝と応援寄付金」を活用した親子サッカー教室を開催した。	生涯学習部
11月	「広島交響楽団東広島定期演奏会の連携・協力に関する協定」の締結と第1回記念東広島定期演奏会の開催	市民に優れた芸術文化に触れる機会を提供するため、広島交響楽協会、東広島商工会議所、芸術文化ホールくらら指定管理者、市の4者で定期演奏会の連携協定を締結した。この協定に基づき、11月に第1回定期演奏会が東広島芸術文化ホールくららで開催された。	生涯学習部